

**インパクトコンソーシアム第1回総会**  
**(2024年5月14日)**  
**神田内閣府大臣政務官 挨拶**

○ 皆さんこんにちは。内閣府大臣政務官の神田潤一です。本日はインパクトコンソーシアムの正式発足に合わせて、ご挨拶の機会をいただき、誠にありがとうございます。

○ 「インパクトスタートアップ協会」が誕生してから今日でちょうど1年7か月、会員数は、現在83社と伺っています。革新的なビジネスを生み出す「スタートアップ」と、事業を通じ社会課題・環境課題を解決していく「インパクト」の2つがつながり、社会のために役立つことが、ビジネスの評価にもつながり得るという考え方が、理解を広げつつあるのではないかと、考えます。

○ 私の地元青森県でも、青森銀行とみちのく銀行を傘下に持つ「プロクレアホールディングス」が、新たに、東北地域に集中して投資を行うベンチャーキャピタルと協働して、地元で新事業展開を図る企業を支援する、新しいファンドを昨年立ち上げました。

ちょうど1年前の昨年5月に開催された、設立記念イベントの様子は、webで公開されており、本日、様々な地域から参加されている皆様にも参考になる取組みではないかと考え、簡単にご紹介させていただきます。

○ ファンドの投資先の1つが、30代後半の青森出身の男性が起業した地域スタートアップ企業です。青森県名産のりんごは、ジュース等に精製する際に、皮や身の搾りかすが大量に廃棄されます。これを地元の飲料メーカーや農家から収集し、乾燥させて食物繊維を取り出し、財布やバッグの材料となる革を作る、いわゆる「ヴィーガンレザー」の会社です。

開業当初は、「りんごの皮から財布の革を作る」というコンセプトが、なんの冗談かと中々理解を得られなかったそうですが、粘り強い営業努力で、現

在では、日系大手航空会社のヘッドレストにも採用されているそうです。

- もう1つは、青森県との県境、秋田県大館市ご出身の20代の方が立ち上げた企業です。この企業は、キノコを栽培する際に大量に廃棄されるおがくずなどを利用してカブトムシを育てています。カブトムシは、飼育用・観賞用はもちろん、まさに世界的に注目される昆虫タンパク質でもあり、医薬品、栄養剤、更には魚の飼料等の原材料としても販売されている、ということです。
- 両社の取組みに共通しているのは、地域に密着した産業や地域の課題を解決するスタートアップということで周囲から非常に高い注目を集めている点と、起業を通じて、事業の創造は勿論、高齢者を含む地域の方々との協働が拡大し、雇用の創出にもつながるなど、街づくりやコミュニティの再生にも貢献している、という点ではないでしょうか。
- また、両社のほか、出資・融資を行った金融機関も含めて、地域の経済・社会の活性化のためには、地域から新たな付加価値を生み出していくことが欠かせない、との点を、等しく強調されていた点も、印象的です。どこかで見たようなものではなく、地域に密着した産業や伝統を新しい形で提供し、付加価値を創造していく。事業が生まれ、雇用を生み出し、地域を巻き込み、地域のけん引役となる、という強い想いを関係者の皆さんのお話から感じたところです。
- 私自身、日本銀行に長く勤めた後に、フィンテックのスタートアップ企業に転職しました。企業文化や組織体制は大きく変わりましたが、その分、思い切ってチャレンジし、これまでにないものを生み出そうという活力と、それによって社会の課題を解決していくという強い使命感があったと思います。

- 従来、こうしたスタートアップ等の活動は、東京に一極集中する傾向が強かったように思います。しかし、解決すべき課題の多い地域から事業を創造していこうという取組みは、政府の「スタートアップ育成5か年計画」以降の様々な支援等の成果もあって、着実に広がってきていると感じています。
- 特に持続可能性という観点から言えば、生産拠点に近い地域は、大きな強みを持っています。地域の中堅中小企業やスタートアップ、これを支える地域の金融機関は、持続可能性を支える重要なキープレイヤーです。
- 勿論、言うは易く、行うは難しと言う通り、実際には、創業ビジョンは明確でも事業戦略が具体化されていない、あるいは素晴らしい技術を持っているが資本戦略・財務戦略が明確でないなど、地域におけるインパクトスタートアップには様々な課題があると思います。
- しかし、そういう時こそ協働による実践とエコシステムの構築が必要です。まさに、本コンソーシアムも含めて、事業者と金融機関が連携して、事業上の知見を磨き、実践を拡げていくことが重要と考えます。

金融庁としても、現在国会でご議論をいただいている「事業性融資の推進等に関する法律案」の成立・実践など、様々な環境整備に努めてまいります。

本コンソーシアムにおける建設的な議論と対話を大いに期待致しまして、私の挨拶とさせていただきます。ご清聴、ありがとうございました。